

21 世紀の生命を育む

はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



咽頭結膜熱



<咽頭結膜熱とは>

アデノウイルス 3,4,6,8 型などによって起こる感染症です。39-40°Cの高熱が4-5日続き、喉の痛みが強く、結膜炎を起こして眼がまっ赤になります。頭痛、はき気、腹痛、下痢を伴うこともあります。

* 夏期に流行するため、かつては「プール熱」と俗称されてきました。しかし、現在のプールの塩素濃度で感染することは、通常ありません。



高い熱、赤い眼、のどが痛い



<治療>

熱やのどの痛みをおさえる飲み薬、点眼薬などを処方します。



<家庭で気をつけること>

- (1)高い熱:何日も高い熱が続きます。涼しい部屋で寝かせましょう。
- (2)食べ物:熱が高く、のども痛いので、食欲がなくなります。プリンやゼリー、アイスクリーム、さましたおじや、とうふ、グラタンなどの、喉ごしの良いものを食べさせて下さい。
- (3)水分:水分は十分に飲ませて下さい。麦茶やイオン飲料(アクアライト、アクアサーナなど)、牛乳、みそ汁、ポタージュスープなどがよいでしょう。
- (4)入浴:高い熱がなくなって、元気が出てくれば、入っても差し支えありません。



<こんな時には>

のどの痛みが強く水分が取れない時、高い熱が3日以上続く時、元気がなくてぐったりしている時には早めに受診して下さい。検査、点滴などが必要なことがあります。



<保育所・学校>

発熱、喉の痛み、結膜充血などの症状が消失して2日間経過したら、登園・登校してかまいません。通常は保育所・学校を5-7日ほど休むことになります。